

2 学 期 終 業 式 講 話

平成27年12月22日

- 先日、20代～30代にかけて、8年間務めた羽島北高校に行ってきた
- ✓ 昭和63年4月に2校目として羽島北高校に赴任
- ✓ この年は3年生のクラスの副担任だった
- ✓ このクラスには、11歳の時に筋ジストロフィーを発症し、車いすで学ぶ生徒がいた
- ✓ 私は彼が集会などに参加できない時に、彼と教室でよく話をした
- ✓ 当時は多くは語らない彼だったが、卒業後、大学に行き、今では、「日本バリアフリー協会」というNPOを立ち上げて活動している
- ✓ そんな彼を、母校、羽島北高校が招き全校生徒を前に講演をしてくれた
- ✓ 彼は生徒たちに、「オンリーワン」になれ！と訴えた

- 彼が高校を卒業後、どうしているか？ ずっと、どこかで気になっていた
- ✓ 高校卒業から10数年経ったある日、偶然、NHKの番組で彼がアメリカ横断をする番組を見た
- ✓ 何か無性に嬉しくて、当時の担任の先輩教諭に伝えた
- ✓ それ以来、いつかは彼に母校に来てもらい、後輩たちにメッセージを伝えてもらいたいという私の夢がかなった日だった

- 来春、「障がい者差別解消法」が施行される
- ✓ この法律ができる約30年前、当時の羽島北高校は特別支援学校（当時は養護学校とっていた）で学ぶのが当然とされた彼を受け入れた
- ✓ 不破高校でも同様の生徒を受け入れたという実績があり、それを参考に羽島北高校でも彼を受け入れたという話も聞いた